

授業科目名	社会福祉現場実習指導	担当教員名	山下 智佳子
科目区分	社会福祉主事任用資格に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	
必修・選択/単位数	選択 / 2単位 (180時間)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
開講学年/学期	2年 前期/後期 (1-3期) / 年間開講数 1講座	特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童相談所で児童福祉司として従事したほか、福祉事務所や社会福祉協議会での実務経験を活かして、具体的に実践的な授業を行っている。
授業の概要 及び 全体目標	社会福祉施設実習（1年次春季）の事前指導を1年後期に、事後指導を2年前期に行う。また、機関実習（2年次夏季）の事前指導を2年前期に、事後指導を2年後期に行う。 ※上記の演習に加えて、実習先のオリエンテーション、研修等に参加する必要がある。		
到達目標	1.社会福祉現場実習（施設）を振り返り、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習（機関）に臨むことができる 2.社会福祉現場実習（機関）の意義について、理解する 3.社会福祉機関について、その目的や役割を理解する 4.社会福祉現場実習（機関）にあたり、自らの課題が設定できる 5.実習後には、実習を振り返り、今後の学びにつなげる自己課題を考えることができる		
テキスト	「実習ハンドブック」大阪教育福祉専門学校編著		
参考書・ 参考資料等	「図解でわかる ソーシャルワーク」鈴木孝典・鈴木裕介 編著（中央法規）		
成績評価の方法	授業参加態度：30% / 課題シートの提出（毎回）：60% / 発表内容：10%		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習については授業時に指示します。事後指導については、毎回提出する課題シートで振り返りをしますが、「実習ハンドブック」と授業時に配付した資料で毎回復習しておきましょう。また、社会福祉現場実習（施設）や教育実習・保育実習を振り返ることで、自己課題を明らかにし、社会福祉現場実習（機関）に活かしましょう。課題シートには質問事項も記載できるようにし、次の授業で回答します。 オフィスアワー：授業終了後（研究室）		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	オリエンテーション 事後指導（施設①）リフレクションワーク		1
第2回	事後指導（施設②）リフレクションワーク グループワーク		1
第3回	事後指導（施設③）エピソード記録作成		1
第4回	事後指導（施設④）エピソード記録 グループワーク 発表		1
第5回	事後指導（施設⑤）自己評価		1
第6回	社会福祉現場実習（機関）の意義と目的		2
第7回	社会福祉実施体制		3
第8回	社会福祉実施機関		3
第9回	児童相談所		3
第10回	保健所、保健センター		3
第11回	福祉事務所①生活保護		3
第12回	福祉事務所②五法		3
第13回	福祉事務所③五法		3
第14回	社会福祉協議会		3
第15回	相談援助①ソーシャルワーク		3
	授業の内容		到達目標番号

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第16回	相談援助②ケースワークの原則	3
第17回	相談援助③ケースワークの展開	3
第18回	相談援助④ロールプレイ（その1）	3
第19回	相談援助⑤ロールプレイ（その2）	3
第20回	相談援助⑥ロールプレイ（その3）	3
第21回	社会福祉現場実習（機関）の課題設定①（事前設定）	4
第22回	社会福祉現場実習（機関）の記録の書き方（その1）	3,4
第23回	社会福祉現場実習（機関）の記録の書き方（その2）	3,4
第24回	社会福祉現場実習（機関）の心得	2,3,4
第25回	社会福祉現場実習（機関）の課題設定②（最終課題設定）	4
第26回	事後指導（機関①）リフレクションシート作成	5
第27回	事後指導（機関②）リフレクションシート グループワーク	5
第28回	事後指導（機関③）エピソード記録作成	5
第29回	事後指導（機関④）エピソード記録 グループワーク	5
第30回	事後指導（機関⑤）発表 まとめ	5